

いしだ便り

第 34 号

2021年4月22日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会

新年度事業について

事務局長 菅野 直芳

昨年度は、コロナの影響により、振興会の行事は残念ながら、ほとんど実施することができませんでした。今年度もコロナの終息については、視界不良の状況です。そのような中で、本会の事業を少しでも実施できるように努力していきたいと考えています。

今年度は、二億円基金事業の第一弾として交流館の調理室を中心とした改装の着工が臨まれます。また、石田地区の高砂会が解散したことに伴い、民報新聞社・県老人クラブ連合会主催の「幸せ金婚夫婦表彰」事業を振興会が継承したいと考えております。申し込みにつきましては、次のようになります。

〇しあわせ金婚夫婦表彰が受けられます

昭和四十六年に結婚され五十年を迎えられた御夫婦、また、前回まで申告されなかった金婚夫婦で希望される方

申込書が石田地区交流館にありますので申し込み願います。

〇石田地区交流館改修概要は本紙第4面に掲載しております。

この人紹介



橋内商店社長

橋内 久芳

ふるさと石田への思い

本年度、中瀬行政区の区長を仰せつかりました橋内久芳です。中瀬行政区は、春には観桜会、夏には暑気払い、秋には収穫祭そして、新年会と様々な行事で交流を図り部落の絆を深めてまいりました。本年度も、コロナ禍での活動になりますが、しっかりと距離を保ちながら、心の距離は縮めないように活動していきたいと考えております。

千年に一度といわれた未曾有の大震災から十年が過ぎ、その間に地球温暖化に伴う想定外の災害、今まで経験の無い災害に見舞われて、「災害は忘れたころにやって来る」そんな言葉が通用しない自然環境になっております。こうゆう時こそ、向こう三軒両隣の絆を今までより強くして様々な困難を

乗り越えて行かなければならないと思います。そのような意味でも行政区、そして石田ふるさと振興会の活動は大事であります。この縁を大切にしながらに絆を太くして、「住んで良かった石田」、「住んでみたい石田」、「戻ってきたい石田」そんな故郷を石田地区民全員で創造して行きたいものです。

石田小学校卒業式



今年3月23日の卒業式

令和二年度卒業式は三月二十三日おこなわれました。来賓は伊達市教育委員会から前の石田小学校の教頭先生のみとなりました。今回は三名の卒業生により在校生は十四名になってしまいました。卒業生徒には毎年本会より卒業祝いの図書券を贈呈しています。令和三年度は入学する児童がいないため入学式はありませんでした。

卒業文集より

六年間の思い出

永井 綾

私は、この六年間でたくさん思い出をつくることができました。特に思い出に残っているものは三つあります。

一つ目は、スキー教室です。スキー教室では、みんなで楽しくスキーをしたり、夜ご飯を食べたりしました。今まで行ったスキー教室の中で、六年生の時が一番楽しかったです。スキー教室六回も行ったけどあきずにとっても楽しかったです。また、スキーのほかに楽しめることがいっぱいありました。バスの中でみんなとおしゃべりしたり、しりとりをしました。

二つ目は運動会です。運動会では、みんな

で楽しく協力して準備をし、「練習」、「本番」とけがなく出来ました。ちなみに、私は、今年紅組でした。しかも紅組が勝ったので最後の運動会で勝って良かったです。

三つ目はキッズアンバサダーです。私が初めて行った国の大使館はキルギス共和国です。ほかにも、イラン、イスラム共和国、スリランカ共和国の大使館にも行きました。ほかにも外務省、復興庁、国会議事堂にも行きました。各国々の文化や、復興庁や外務省の仕事などを知ることが出来ました。

六年間で本当にたくさん思い出が出来ました。この思い出を胸に中学校でも頑張りたいです。



今年のスキー教室みんな記念写真



本格的なスキー教室です

本振興会では毎年スキー教室に助成金を送っています。

石田ふるさと掲示板から

林業福島を表紙に彼岸花祭りでの大径木伐採実演の写真が掲載され、また、JAふくしま未来広報誌三月号に元地域支援員現在石田に在住された菅野照さんが活躍する農業女子として大きく掲載されました。



委員会便り

総務広報委員会

菅野 清夫

月日の経つのは早いもので、震災と震災に伴う原発被害から十年が経過しました。しかし、石田地区においては、人口の減少、高齢化、一部農産物出荷自粛等と復興の道程は道半ばであります。また、昨今はコロナ禍の影響から自由に出歩くこともままならない状況です。このような時だからこそ石田ふるさと振興会と地区民ひとりひとりが自分の歩幅で歩み力を合わせ、かけがえのない「ふるさと石田」を未来に繋げて行ければと思います。当ホームページでも随時石田の情報を発信しております。

健康福祉委員会

佐藤 紹一

新たなスタッフも加わり、より楽しい活動が期待されていましたが、残念ながら石田子クラブを一度も開催できぬまま一年が過ぎました。

新年度より「いきいきクラブ」も担当することになります。まだ見通しはたっておりませんが、子供達とおじいちゃん、おばあちゃん

ちとの合同イベントなどもやってみたいな、などと早く活動再開できることを願っています。

毎年春に開催していた「大霊山線ウォーキング」は今年も中止となりました。

(いきいきクラブは事務局担当に変更いたします。)

地域活性化委員会

菅野 毅

地域活性化委員会の令和二年度は、コロナ一色で、活動らしい活動ができない一年でした。唯一行ってきた石田の宝ですが、数は少ないものの大変良いお宝が数点ありましたので来年度は、マップの構成を行い皆さんに発表できるよう頑張っていきたいと思っております。また、令和三年度は、石田の絶景や人間模様などの写真を大々的に募集をしたいと思っておりますので、是非皆さんふるって応募して下さい。まだまだ、コロナの影響は続くみたいですが、皆様におかれましては、体に十分留意し明るい令和三年度を迎えましょう。

環境防災委員会

佐々木 壮之助

今年度も本委員会恒例となりました彼岸花

植栽を計画しています。植栽場所は昨年同様草刈管理の出来る集落に植えたいと思います。

また、石田川脇の草刈奉仕作業を行いますので地区民の皆様の協力をお願い致します。

秋には防災訓練も実施の予定です。

多くの皆様に参加していただき非常時に備えたいと思います。宜しくお願致します。

女性委員会

寺島 幸恵

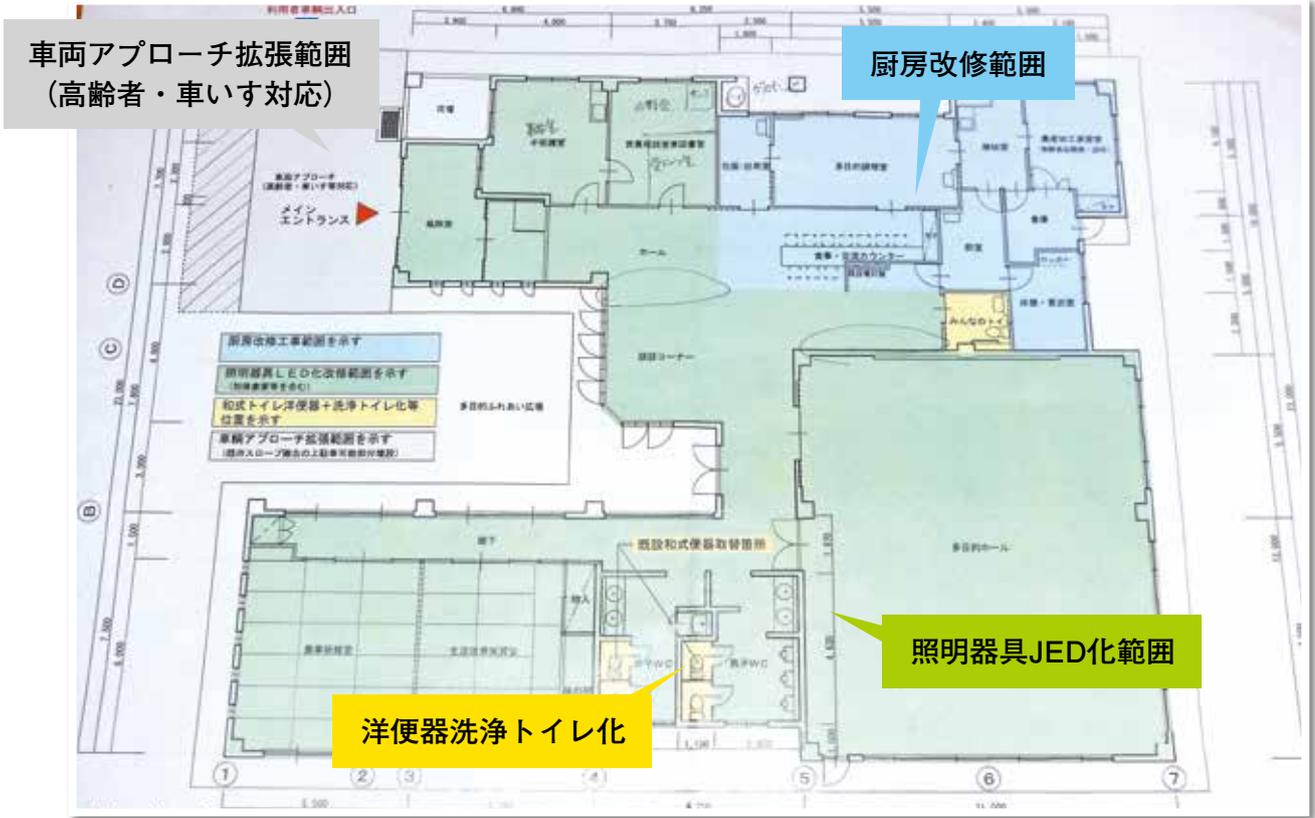
石田婦人会は皆様に大変お世話になりました。敬老会を続けていきたいと思い、今回石田ふるさと振興会の中に「女性委員会」として参加させていただきました。

振興会のいろいろな行事には、女性の仕事がたくさんあります。各方部の代表の二名の方にその都度連絡しまして、都合のつく方に〇〇方部というふう石田地区全域の方々に参加していただき、交流を深めて行きたいと思っております。

女性の力でますます明るく楽しい石田地区にしていきましょう。

今はコロナのために行事もなかなか開催できませんが、ご協力よろしくお願いたします。

石戸地区交流館改修概要



厨房改修概要

- 包装出荷室—調理した弁当やお菓子の包装
- 多目的調理室—パン焼きオーブン、発酵機を備え出荷対応可能施設
- 食事・交流カウンター—調理した食事を楽しみ住民の交流を図る
- 農産加工室—地区の農畜産品を活用し製品の開発研究対応のため発酵機、真空包装機を備える

編集後記

今年の桜は三月中に満開となり見事に咲き乱れてくれました。コロナ禍の中ひと時の癒しとなりました。桜は花を咲かすために一年間暑さ寒さ、害虫や病気に耐えじつと養分や力を蓄えているのだといわれます。私たちも自粛中ではありますが、じつと耐え力を蓄えて花をさかせてみたいと思います。



交流館にあります申し込み用紙に記入の上
五月中くらいまで申し込み願います。

金婚夫婦表彰申込書